施設基準 ホームページ掲載事項

医療情報の活用について

- ・医師等が診療を実施する診察室等において、オンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して診療を実施しています。
- ・マイナ保険証を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。
- ・以下については現在猶予期間のため、猶予期間満了までに整備する予定です。
電子処方箋を発行する体制、電子カルテ情報共有サービスを活用できる体制
- ・医療DXにかかる取組を実施しています。

(医療DX推進体制加算)

後発医薬品について

当院では、入院及び外来において後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用に積極的に取り組んでいます。もし医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の処方等の変更等に関して適切な対応ができる体制を整備しています。また、医薬品の供給状況によっては、投与する薬剤が変更となる可能性があります。なお、変更する場合には十分に説明させていただいたうえで、処方させていただきます。

(後発医薬品使用体制加算)

院内トリアージの実施について

当院では、夜間、深夜、休日の救急外来患者さんに対し、院内の基準に基づき、患者さんの来院後速やかに患者さんの状態を評価、緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行う院内トリアージを実施しています。院内トリアージは専任の医師または看護師が行います。これにより、重症の患者さんを優先的に診察させて頂く場合がございます。

(院内トリアージ実施料)

外来化学療法について

専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時1人以上配置され、電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制を整備しています。

急変時等の緊急時に当該患者が入院できる体制が確保されていること又は他の保険医療機関との連携により緊急時に当該患者が入院できる体制を整備しています。

実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認する委員会を開催しています。

(外来腫瘍化学療法診療料)

在宅医療 DX の推進について

当院在宅医療部では、質の高い診療を実施するための十分な情報を取得・活用して診療を行うため、以下の取組をしています。

○医師が居宅同意取得型のオンライン資格確認等システムにより取得した診療情報等を活用して、計画的な医学管理の下に、訪問して診療を実施しています。

○マイナ保険証の利用を促進する等、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます

(在宅医療DX情報活用加算)

コンタクトレンズ検査料を含む診療に関わる費用について

1. 初診料及び再診料

コンタクトレンズの装用を目的としている方で、当院に初めて受診した方は初診料 270 点を、当院及び美杉会男山病院において、過去にコンタクトレンズ検査料算定したことがある方は再診料 71 点を算定いたします。

2. コンタクトレンズ検査料 I

コンタクトレンズの装用を目的に眼科学的検査を行なった場合は、200 点を算定いたします。

3. コンタクトレンズ診療を行っている医師

氏名：北川チエミ 眼科診療経験：29年(2025年4月1日現在)

(コンタクトレンズ検査料)

医科点数表第2章第 10 部手術の通則の5及び6に掲げる手術について

手術区分	手術名称	手術件数
区分1	ア. 頭蓋内腫瘍摘出術等	0
	イ. 黄斑下手術等	3
	ウ. 鼓室形成手術等	0
	エ. 肺悪性腫瘍手術等	4
	オ. 経皮的カテーテル心筋焼灼術	0
区分2	ア. 靭帯断裂形成手術等	2
	イ. 水頭症手術等	0
	ウ. 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
	エ. 尿道形成手術等	0
	オ. 角膜移植術	0
	カ. 肝切除術等	16
	キ. 子宮附属器悪性腫瘍手術等	0
区分3	ア. 上顎骨形成術等	0
	イ. 上顎骨悪性腫瘍手術等	0
	ウ. バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0
	エ. 母指化手術等	0
	オ. 内反足手術等	0
	カ. 食道切除再建術等	0
	キ. 同種死体腎移植術等	0
区分4	胸腔鏡下・腹腔鏡下手術	384
区分5(その他)	ア. 人工関節置換術	2
	イ. 乳児外科施設基準対象手術	0
	ウ. ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	2
	エ. 冠動脈、大動脈バイパス移植術及び体外循環を要する手術	0
	オ. 経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	0
	経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	0
	経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	0
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	0
	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	0
	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	0

(2024年1月～12月実績)

(医科点数表第2章第 10 部手術の通則の5及び6)